

平成28年度 振興局独自事業 事業一覧

振興局	番号	区分	事業名	事業概要	予算額 (千円)
空知	1	一般	空知地域人材確保推進事業	空知の経済活力を維持し活性化を図っていくため、ものづくり産業等の分野などにおいて、新規学卒者をはじめとする若年者の地元就職及び定着率の向上を図る。	555
	2	一般	空知農業振興事業	地域の基幹産業である農業の新しい姿を目指し、地域の取り組みを支援することにより、地域農業を理解し、将来の農業・食品関連産業を支える人材の育成を図る。	1,729
	3	一般	北海道空知魅力発信事業	空知の魅力やこの地域ならではの仕事やライフスタイル、生活環境などに関する情報を発信し、空知地域に対する関心・理解を高めてもらい、首都圏等での知名度向上を図る。	3,617
	4	一般	空知 魅力ある観光資源・ワイン産地づくり促進事業	国内外からの観光客を呼び込むことができる魅力的な観光地づくりを進めるため、空知ならではの新たな観光資源を開発するとともに、地域資源の一つとして注目されているワインづくりの産地基盤確立に向けた支援を行う。	2,792
	5	一般	空知産業遺産活用促進事業	平成20年度に策定した「元気そらち！産炭地域活性化戦略」に基づき、炭鉱遺産群を活用した観光・まちづくりを図る。	2,307
	6	一般	産業遺産シビックプライド醸成事業	空知地域の炭鉱遺産群をはじめとした産業遺産の魅力ある地域資源を活用し、地域住民の「シビックプライド(地域に住む人々の誇りや自信、アイデンティティ)」を醸成し、産炭地域の活性化を推進する。 (企業版ふるさと納税活用)	561
	7	一般	炭鉄港ストーリー構築事業	北海道150年(平成30年)を迎えるにあたり、北海道の近代化を進めてきた「炭鉄港」関連産業遺産を「地域の宝」とし、より魅力の高い歴史的広域ストーリーの構築及び関連地域内の産業遺産の保全・活用を進めることで、地域の魅力向上を図り、さらなる交流人口の拡大に繋げる。	3,055
小計				7事業(一般7、政策形成:0)	14,616
石狩	8	一般	いしかり元気な農村ビルドアップ事業	管内では、全道平均を上回る農家戸数の減少、耕作放棄地の発生や生産力の低下が懸念されることから、地下かんがいを活用した先進的な農業技術の普及による、農家経営の安定化、農業者の定住や後継者確保を図るとともに、大都市札幌を抱える立地条件を活かし、都市住民への農業・農村の魅力発信や農工商連携・6次産業化の支援を行う。	1,471
	9	一般	北海道新幹線等を活用した交流人口拡大事業	北海道新幹線を活用し、東北や関東からの観光客の誘客や、札幌圏の道民に対して東北との交流拡大のためのプロモーションを展開するとともに、石狩地域に興味や関心のある方を対象としたファンクラブを運営し石狩地域の魅力を広く発信するなど、地域の情報発信力の強化を図る。	1,692
	10	一般	「ようこそいしかり」誘客促進事業	成長市場である東南アジアを主なターゲットとして、観光客誘客に向けた海外でのプロモーションを実施するほか、SNSを利用した情報発信、現地旅行会社やメディアの招聘など、石狩地域が持つ魅力を国内外に効果的にPRすることで、交流人口の拡大を図る。	7,054
	11	一般	地域特性を活かした総合的な少子化対策推進事業	管内人口は、出生率の低迷などにより、減少への転換期を迎えており、特に管内市町村の合計特殊出生率は、札幌市を含め4市町が道内ワースト4を占めている状況にある。このことから、管内の出生率向上に向け、若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境づくりなど少子化対策の取組を推進する。	1,108
	12	一般	シェフを活用した石狩ブランドづくり事業	地域のこだわりの生産物を「石狩ブランド」に導くため、具体的な生産物(食材・加工品)を求める食・料理の専門家であるシェフ(料理人)を対象とした生産者との交流を推進し、シェフの石狩産生産物への理解を深め、使用を促すとともに、石狩産生産物の魅力を広くPRする存在となることを目指し、また、生産者がアドバイスを受けることで、生産物の向上につなげることにより、石狩のイメージ形成に資する石狩産生産物のPRを行う。	350

平成28年度 振興局独自事業 事業一覧

振興局	番号	区分	事業名	事業概要	予算額 (千円)
	13	政策形成	いしかり・ふれあいサロン推進事業	少子高齢化が急速に進展し、人口減少問題が喫緊の課題となっている。その課題に対応するためには、高齢者、障がい者、子どもや子育ての親などが、共に交流する中で、支え、支えられながら、安心してその地域に住み続けることのできる社会の構築を目指す。	2,275
			小計	6事業(一般:5、政策形成:1)	13,950
後志	14	一般	人口減少社会における新たなまちづくりモデル事業	急速に進行する人口減少や高齢化に対応し、定住人口の増加を図るため、これまで進めてきた広域連携の景観づくりを発展させ、地域との連携を深め、空き家対策や住宅政策、高齢化対策、しりべし「まち・ひと・しごと」マッチングプランなどと連動した取組を総合的に展開することにより、人口減少社会に対応した新たなまちづくりモデルを構築する。	1,474
	15	一般	“しりべし”パワーアップ推進事業	北海道新幹線の開業などの効果を後志管内に広く波及・拡大させるため、地域の気運醸成を図るとともに、観光誘客の促進や地域の魅力発信、道南圏との交通アクセス網の充実・強化に向けた取組を行い、東北・北関東圏等との交流人口を拡大する。	7,422
	16	一般	しりべしフードサポート事業	後志の特産品の磨き上げ・道内外の販路拡大・海外市場への販路開拓を図るため、ニセコエリアのイベント等に合わせた物産販売会、海外展開セミナーなどを実施し、観光と一体となったPRを行う。	1,449
	17	一般	しりべし新規ブランド特産農産物拡大プロジェクト事業	地域農業の持続的発展が必要であるため、良質で収益性の高い特産農産物の生産を拡大する取組を推進する。	844
	18	一般	磯焼けウニ高付加価値化推進事業	日本海漁業振興の方策の一つとして、未利用資源の有効活用を進めるため、磯焼け地帯のキタムラサキウニの身入りを改善させる短期養殖技術の開発と連携し、養殖ウニの高値出荷に関する市場調査及びPR活動を行う。	1,011
	19	一般	後志・西胆振広域観光推進事業【後志、胆振】	後志・西胆振地域に新たな国内外からの観光客を誘致するため、両地域が一体となってニーズの多様化など様々な課題に対応することとし、今後増加が見込まれる外国人観光客に対するホスピタリティー向上のための語学研修を行う。 また、互いの観光地に関する知識の習得のための両地域巡回ポスター展を行う。	1,630
	20	政策形成	「リゾートと地域が共に発展するタイアップ協定」展開事業	世界有数のリゾートエリアである「ニセコ」の持続的発展の阻害要因となりうる深刻な人材不足を解消するため、魅力的な就職選択肢としてのニセコエリアの知名度を高め、人材の確保を図るとともに、持続的発展に向けて必要となる「リゾートと地域の連携体制(リゾート・コミュニティ)」を形成するため、ニセコエリアの関係者の取組方向を共有する会議を開催する。	800
			小計	7事業(一般:6、政策形成:1)	14,630
胆振	21	一般	胆振誘客ストーリー展開事業	特色ある地域資源を磨きあげ、結びつけることにより地域のブランド力を高めていくとともに、効果的に魅力を発信していくことにより、国内外からの誘客の促進、交流人口の拡大につなげ、個性豊かで持続可能な地域社会の実現に資する。	8,444
	22	一般	胆振ものづくり産業活性化推進事業	胆振地域の優れた技術力を背景に開発された工業製品等に焦点をあて、道内外に広くPRすることによって販路を拡大させ事業者の経営基盤の強化を図り、ものづくり関連産業の振興に資する。	3,096
			小計	2事業(一般:2、政策形成:0)	11,540
日高	23	一般	ひだか戦略的総合情報発信事業	北海道新幹線開業(2015年)や東京オリンピック開催(2020年)をはじめ、海外から北海道への注目が高い中、来道者の増加が見込まれることから、こうした需要を管内に取り込むため、襟裳岬や豊似湖などの自然や日高の多様な食や特産品をはじめとした管内の魅力発信、地域資源の文化・学術的価値の効果的なPR等を行い、知名度向上とイメージアップによる交流人口の増加及び地域経済の活性化を図る。	7,595

平成28年度 振興局独自事業 事業一覧

振興局	番号	区分	事業名	事業概要	予算額 (千円)
	24	一般	農林業被害低減のための鳥獣被害対策事業	日高管内のエゾシカによる農林業被害額は、減少傾向にあるが、生息数等は未だ高い水準にあることから、その数の低減を図ることが必要であり、エゾシカ個体数の減少と農林業被害の低減を図るため、エゾシカの捕獲促進及び有効活用の拡大を図る。また、今年度からは、農業被害の増加しているヒグマに係る対策として、デントコーン畑に侵入したヒグマの追い出しや捕獲の方法の開発等を行う。	968
	25	一般	日高軽種馬産地活性化推進事業	日高が持つ「全国で唯一の馬産地」「温暖少雪な気候風土」「港・空港に近い立地」といった強みを生かし、軽種馬生産の構造改革や馬関連産業の育成、新規就農者の育成・確保に取り組み、地域の活性化を図る。	1,726
	26	一般	日高地域コンブ生産安定対策事業	日高管内の基幹漁業であるコンブ漁業については、着業者の減少と高齢化が進行し、生産量が年々減少しているため、新たな漁業生産体制の整備や漁場環境の適切な把握などの対策を進め、コンブ漁業の生産安定を図る。	581
	小計				4事業(一般:4、政策形成:0)
渡島	27	一般	北海道新幹線開業を活かした地域づくり推進事業【渡島・檜山】	北海道新幹線の開業効果を最大限に発揮し、持続させていくための基盤づくりを進め、「北海道新幹線開業に向けた道南地域アクションプラン」の推進に向け、より効果的な取組を展開することにより交流人口の拡大を図る。	1,833
	28	一般	「北の縄文」魅力発信・ファン拡大推進事業	地域の財産である縄文の価値を正しく理解し、その素晴らしさを未来に継承するため、PR体制の強化や、北海道新幹線開業の機会を捉えた東北圏へのPRを実施し、新たな「縄文ファン」層の開拓を図る。	708
	29	一般	スポーツ合宿誘致魅力発信強化事業	北海道新幹線開業の好機を活かし、スポーツ合宿を誘致していくため、各種スポーツ競技団体等に対し、管内の競技関連施設や宿泊施設等を広く情報発信するとともに、市町等の広域的な連携による受入体制の構築等を支援し、交流人口の拡大を目指す。	430
	30	一般	道南地域食振興ネクストステージ事業【渡島・檜山】	北海道新幹線開業を機に、道南の食のブランド力の更なる強化を図るため、道南の一次産業と二次・三次産業を結びつけることにより新たな食の魅力を創造するとともに、販路拡大等に係る支援や食の安全・安心に係る知識・意識レベルの向上を図り、食産業の振興に資する。	1,510
	31	一般	北海道新幹線開業に向けた観光地域づくり推進強化事業【渡島・檜山・後志】	北海道新幹線開業効果を地域で最大限享受するため、広域協議会を中心に観光地域プラットフォームの構築に向け、観光人材の育成、商品づくりの取組を加速させるとともに、観光地としての魅力を発揮・持続できる仕組みを構築し、観光客の増加を図る。	2,700
	32	一般	渡島スマートアグリ構想推進事業	将来の農家人口半減の予測を踏まえ、産学官連携のもと、渡島農業の基幹をなす施設園芸を中心とした複合経営の効率化・高度化(＝スマートアグリ)を図ることにより、人口減少社会に対応した持続可能な次世代型営農スタイルの構築を目指す。	1,351
	33	一般	農と浜のコンパクトツーリズム促進事業	北海道新幹線開業により増加が見込まれる観光客を対象に、短時間での移動が可能な管内の特性を活かした体験観光や施設情報を発信することにより、周辺農・漁村部への入り込みを促進し、地域産業の振興等による農山漁村の活性化を図る。	438
	34	一般	みんなですすめる木づかいプロジェクト	地域材を活用した魅力ある施設・木製品の更なる利活用の促進のために、異業種フォーラムと連携し、新たな木材利用の活用方法の検討するとともに、道央圏をターゲットに道南スギのPRを行い、地域材の認知度向上と需要拡大を図ることにより、林業・木材産業の活性化と雇用の拡大を目指す。	1,852
	35	一般	渡島水産塾～担い手育成推進事業	漁業に接する機会が少なかった新規高卒予定者を対象に、コンブをモデルとした体験学習を実施することにより、広く地元の学生に対し、水産業へ関心を持つ機会を提供し、基幹産業の担い手対策強化と人口減少の抑制を図る。	700

平成28年度 振興局独自事業 事業一覧

振興局	番号	区分	事業名	事業概要	予算額 (千円)
	36	一般	就業・定住促進対策推進事業	北海道新幹線開業を契機に、渡島地域の農林水産業・医療介護福祉分野への就業及び定住を推進するため、市町との連携を図りながら、就業情報や生活・住宅情報を一元化し広く発信するとともに、視察体験等を実施することで、管外からの新規就業者を呼び入れ、産業等の振興と人口減少問題への対策を図る。	978
	37	一般	道南観光物産館・道の駅機能強化支援事業【渡島・檜山】	北海道新幹線開業効果を道南地域全体が享受できるよう、「道の駅」をはじめとした観光物産施設の運営基盤や機能強化を支援し、単なる観光案内・物産売場から地域経済活性化拠点への機能強化を図る。	1,992
	小計			11事業(一般:11、政策形成:0)	14,492
檜山	38	一般	檜山地域における新幹線観光対策事業	北海道新幹線開業を生かし、檜山地域への観光客の流入促進及び経済波及効果を最大限享受することができるよう、檜山地域の魅力ある食・観光資源を磨き上げ、観光物産振興の取組を推進する。	6,350
	39	一般	檜山地域企業立地人材力強化事業	檜山地域で企業誘致活動を進める人材の育成を図り、地域での企業誘致活動の強化を推進する。	800
	40	一般	檜山農業生産力底上げ・人づくり推進事業	既存の高収益作物の生産性向上や新たな作物導入等により生産力の底上げを図るとともに、担い手の育成・支援体制の整備や檜山に適した新規就農の仕組みづくりにより人(農業担い手)づくりを進め、檜山地域の経済・社会を支える檜山農業の持続的発展を図る。	700
	41	一般	みんなで学棒(まなぼう)檜山の木利用促進事業	道南地域特有の造林樹種である「スギ」について、檜山管内での需要拡大を図り、スギの利用を道内に広く波及させるため、建築関係者等との検討会議を開催するとともに、一般消費者に対する普及PRを実施する。また、地材地消をこれまで以上に推進させるため、教育機関とのネットワーク形成を図り、豊かな自然や地域材を活用した「木育」の取り組みを広く波及させる。	500
	42	一般	津軽海峡新時代！道県間の次代担い手交流・連携促進プロジェクト事業	新幹線開業を機会に檜山地域と東北地域との相互交流を促進し、両地域の歴史・文化等の繋がりを基軸にした新たな事業を東北地域と連携して検討、実施することを通じて、当地域の次代を担う人材を育成するとともに、将来の経済・文化等交流の基軸となる人的ネットワークを構築し、津軽海峡交流圏の活性化と交流人口の増加に資する。	1,040
	43	一般	ひやまの「稼ぐ漁業」ボトムアップ推進事業	檜山管内の水産物の生産環境や産地価格の形成過程などについて、漁業者や加工流通業者等の関係者が連携・情報共有し、水産物の価格向上を目指すとともに、消費者の認識を向上させ、漁業者の所得向上と地域経済の活性化を図る。	1,110
	小計			6事業(一般:6、政策形成:0)	10,500
上川	44	一般	道北地域交流人口拡大推進事業	交流人口の拡大により道北地域の地域振興を図るため、北部においては天塩川、中部においては大雪山をテーマとして地域の魅力を発信するとともに、貴重で豊かな自然環境を保全する取組も併せて実施し、さらに国際交流には欠かせない旭川空港国際航空路線を安定的・継続的に維持・拡大する取組を推進する。	3,852
	45	一般	「食」や「食文化」を観光資源とするフードツーリズム推進事業	「食」や「食文化」をテーマとした新たな旅行商品の提案や既存の旅行商品に、「かみかわ食べものがたり」をベースとした「食」や「食文化」にまつわる観光素材の魅力を加え、地域における観光の裾野を広げるための取組を展開し、上川地域への誘客促進を図る。	2,743
	46	一般	持続可能型上川農業確立推進事業	今後の人口減少に対応した持続可能な農業を確立するため、ビニールハウスによる施設園芸への省力化技術導入や、作付拡大が見込まれる飼料用米の低コスト栽培技術の確立、収益性の高い新規作物の導入検討など、さらなる省力化・高収益化に向けた取組を推進する。	395

平成28年度 振興局独自事業 事業一覧

振興局	番号	区分	事業名	事業概要	予算額 (千円)
	47	一般	地域森林資源利用推進プロジェクト事業	上川管内では、人工林資源が利用期を迎えており、地域での森林資源の循環利用を推進するため、地域材の利用を加速させる必要があり、林地未利用材を有効活用した木質バイオマス安定供給の促進や道産材家具の利用を拡大することにより、地域特性に応じた資源管理体制を構築し、山村地域の活性化を図る。	2,005
	48	一般	かみかわ地域産業担い手対策事業	今後の人口減少社会を見据え、地域全体を支える産業(農業・林業・商工業)の担い手・後継者を確保・育成するため、地域において産業別の課題に応じた取組を進めるとともに、道外に向けて上川地域の魅力をPRし、雇用の拡大を図る。	3,351
	49	一般	上川地域づくりコミュニティ創出事業	地方創生の取組として市町村が策定した市町村総合戦略の効果的な推進及び地域の持続的発展を図るため、振興局、市町村、団体・企業、農業者など、管内の多様な主体の若手が参画する「かみかわ未来会議」を開催し、上川地域における広域的な人的ネットワークの構築・強化や、人材育成に向けた取組を推進する。	854
	50	一般	スポーツ合宿推進事業	2018年の平昌オリンピック、2020年の東京オリンピックの開催控え、スポーツ合宿誘致に係る機運の高まりなどスポーツへの注目が集まっている。このことから、関係市町村や関係機関のほか、オホーツク総合振興局とも連携し、地域の実情・実態に応じた合宿の誘致に向けた取組を進めるほか、スポーツ活動に取り組む人たちの裾野を広げ、地域の活性化を図っていく。	800
	小計				7事業(一般:7、政策形成:0)
留萌	51	一般	るもいの豊かな海と森を育む事業	留萌管内の豊かな水産資源や森林資源を持続的に有効活用するため、関係機関と行政が連携し、海と山が一体となった取組みや新たな販路拡大の仕組みづくりなどを行い、地域の産業振興や雇用確保を図る。	1,362
	52	一般	留萌健康産業展開促進事業	留萌地域の特性を活かした健康産業を展開し産業としての確立を促すため、地域資源の活用や地域住民等との連携により各種プロジェクトを推進する。	1,900
	53	一般	るもい産業担い手支援モデル事業	地域における後継者確保対策、起業や新たな事業アイデアの具体化などの課題に対し振興局としても地域と一体となって伴走支援をしていくための取組を推進する。	1,985
	54	一般	るもい地域戦略的魅力創造発信事業	管内では、体験観光メニューの磨き上げ、教育旅行ルート造成、近隣大都市へのPR等を行ってきた。今後の観光入込客数増加のためには、地域の資源を改めて見直し、ターゲットを見据えた観光客誘致の手段が求められる。また、さらなる管内の知名度アップを図るため、近隣大都市へのPRを実施すると共に、管内の観光資源の評価・検討を行う。今後の観光ルート作成の検討材料とし、新幹線開業を契機に道内外へのPRへも注力する必要がある。	3,203
	55	一般	るもい“農”フル活用推進事業	留萌地域においては、良食味米の生産を中心に、小麦や大豆などの畑作や果樹、野菜、花き、酪農・肉牛などバラエティ豊かな農業を展開し、地域を支える基幹産業となっている。今後も引き続き留萌地域の特徴を最大限発揮するため、水田のフル活用及び硬質小麦(ルルロツソ)の産地化を推進する。	1,185

平成28年度 振興局独自事業 事業一覧

振興局	番号	区分	事業名	事業概要	予算額 (千円)
	56	一般	るもい暮らし魅力発信(移住・定住促進)事業	各市町村が個々に行っている移住定住に係るPR活動をより効果的に実施するため、振興局及び管内市町村が連携し、るもい地域の魅力を一体で発信する等の取組を進めることにより、来萌及び移住体験等の促進を図る。	865
	57	政策形成	留萌地域薬用作物産地化推進事業	国内需要の拡大が見込まれる薬用作物に着目し、苫前町で復元の取り組みが行われているハマボウフウや、国内需要が見込まれる品目の栽培試験を行い、留萌の地域条件に適應する品目の選定や、栽培マニュアルを作成し留萌地域での産地化を目指す。	2,700
	小計			7事業(一般:6、政策形成:1)	13,200
宗谷	58	一般	SOYA移住・定住推進事業	宗谷管内市町村における人口減少の進行を緩和するため、地域と連携して、地域資源を活用した道外及び道内居住者の移住・定住を促す取組を進めることにより、管内からの人口流出の抑制及び管内への人口流入の促進を図り、移住しやすい地域づくりを進める。	4,060
	59	一般	最北端・宗谷の「ショク×タビ」プロジェクト形成促進事業	管内の人口減少等によりマーケットが縮小する中、食と観光の企業間連携や地域食材の活用が十分ではないことから、地域における意欲的な事業者が連携する場を形成するとともに、個別相談やプロモーション、セミナー開催などといった地域企業等へのビジネスサポートを通じて、食と観光の一体的なプロジェクトを創出し、宗谷の食・観光関連産業の底上げを図る。	1,897
	60	一般	国境を越えた交流 海外との経済交流促進事業	農水産物の販路拡大や物流促進による地域経済の活性化を目指し、稚内港を拠点としたサハリンへの輸出を促進する。また、交流人口の増加による地域の活性化のため、近年宗谷管内入込数で上位を占める台湾人、サハリンのロシア人、香港人及びタイ人観光客をターゲットに、国内外の観光関係者との交流支援や地域と連携した売り込み等を行う。	2,744
	61	一般	アザラシ対策事業	ゴマフアザラシ(周年定着個体数)を削減し、漁業被害軽減を図るため、地域実態に即した捕獲手法検討及び捕獲体制を構築する。	1,492
	62	一般	持続可能な酪農経営の確立 と生産基盤強化対策事業	宗谷管内は1戸あたりの草地面積が他管内に比べ広く、近年は離農等の引き受けにより1戸あたりの草地面積が拡大しているため、適切な栽培管理ができずに草地の4割が雑草で占めている状況にある。牧草の品質低下は生乳生産量の減少を招く要因となっていることから、草地の状況に合わせた適切なほ場の利用の方法を探ることにより、効率的なほ場管理の手法を提案する。	807
	63	一般	攻めの担い手対策 第1章 戦略的プロモーション事業	人口減少や基幹産業の担い手不足が課題とされている宗谷地域において、都市部の大学生等を地域に呼び込み、就業体験、一次産業への就業という一連の流れを定着させるため、首都圏及び関西圏等でプロモーションを先行実施する。	750
	64	政策形成	離島連携☆地域を支える若手職員等政策形成能力向上事業	宗谷地域の地方創生の取組を推進するにあたり、当地域は市町村による広域連携や官民共同の素地がないことから、地域を支える若手職員で構成されるSOYA fresh☆networkを中心に、同じく地域の喫緊の課題である離島振興をテーマに意見交換やワークショップの実施課題解決に向けた具体の事業を企画立案するなど、管内若手職員の政策形成能力向上を図る。	900
小計			7事業(一般:6、政策形成:1)	12,650	

平成28年度 振興局独自事業 事業一覧

振興局	番号	区分	事業名	事業概要	予算額 (千円)
オホーツク	65	一般	人口減少社会を見据えたオホーツクAI推進加速事業	地域が将来にわたり持続していくためには、小規模でも適性な人口構成を維持することや、風土に根ざした産業振興が不可欠である。そのため、各市町村においては、生活インフラをはじめ、医療、福祉、子育て、教育など住民が安心して暮らせる環境づくりや、豊かな農林水産資源を活用したものづくりなどを行っており、そうした基盤の上に、地域の魅力素材を掘り起こしつつ厳選し、それらを知ってもらうことで、地域のファンやリピーター、来訪者を増やし、将来的に、定住や産業振興につなげる。	700
	66	一般	オホーツク若年層地域定着支援事業	地域の基幹産業である農林水産業の担い手不足の解消には、若年層の地域定着を促進させることが重要である。そのため、オホーツク地域の大学と連携し新たなインターンシップ制度を創設し、大学生が地域の農林水産業を体験することで、やりがいや魅力を提供し、若年層を農林水産業の担い手として地域定着を促進する。	2,500
	67	一般	オホーツク産森林認証材利用促進事業	オホーツク地域で先進的に進められている森林認証の取組を加速化するため、東京オリンピック・パラリンピック大会(TOP)開催を契機とした森林認証材の利用の促進を図ることを目的に、首都圏の工務店やTOP施設等建設会社の担当者を対象にオホーツク産森林認証材の認知度を向上するためのプロモーション事業を実施する。	920
	68	一般	管内産秋さけEU向け輸出促進事業	管内産秋サケのEU輸出促進のため、管内各漁港におけるサケの陸揚実態の調査を行い、EU基準をクリアするための問題点を精査する。	100
	69	一般	人口減少社会を見据えたオホーツク地域来訪促進事業	平成27年度に知床が世界自然遺産登録10周年の節目を迎え、オホーツク地域の魅力を新たにPRする機会と位置付け、地域が有する食や景観などの豊かな地域資源の情報を道外に発信することにより、オホーツクのファンや観光客の更なる来訪を促進して、管内への交流人口の増加や地域の観光産業の活性化を図り、将来的に定住や産業振興に繋げる。また、道東4振興局との広域連携による地域資源の優位性を活用した観光プロモーションを実施し、ひがし北海道の周遊観光の推進を図る。	1,923
	70	一般	オホーツク食の地域ブランド形成事業	オホーツク地域のブランド力を向上させ、「オホーツク」の知名度を一層高めていくため、地域の産学官金の連携により、地域資源を活かした多様な産品を管内外・道内外に発信するとともに、商品開発等を分野横断的に推進し、食関連産業の総合的な振興を図る。	1,500
	71	一般	クールオホーツク推進事業	道における地球温暖化防止対策と省エネルギーの推進やオホーツク総合振興局におけるオホーツクのエリアカラーとしての「オホーツクブルー」の選定・発信（「オホーツクA1」）といったこれまでの取組を発展的に展開していくため、オホーツクらしいクールビズによる省エネ行動啓発と「オホーツクブルー」を地域ブランド色として地域活性化に結びつける取組（以下、「クールオホーツク」という。）を地域が一体となって推進し、交流人口の拡大に結びつける。	300
	72	一般	知床エコツーリズムのための自然情報提供システム構築事業	北海道が管理するホロベツ園地や知床五湖地上歩道の自然解説を目的にポイント毎の内容を情報端末で取得できるシステムの構築化及び外国人観光客向けの利用ルール・マナーのレクチャー機能化。	1,500
	73	一般	スポーツ合宿ブランド化推進事業	2018年の平昌オリンピック、2020年の東京オリンピックの開催控え、スポーツ合宿誘致に係る機運が高まっている。このことから、関係市町村や関係機関等と連携し、地域の実情・実態に応じた合宿の誘致に取り組み、地域の活性化を図る。	2,000
74	一般	Made in オホーツク輸出推進事業	少子高齢化の進行により国内マーケットの縮小が見込まれる中、将来的に有望な海外マーケットに対し、安全・安心で高品質なオホーツク産農林水産物の優位性を生かした販路拡大を進めることにより、オホーツク地域の産業活性化に資する。	290	

平成28年度 振興局独自事業 事業一覧

振興局	番号	区分	事業名	事業概要	予算額 (千円)
	75	一般	オホーツク・コンフェクション魅力発信事業	オホーツク管内の菓子製造事業者等と連携し、オホーツクの優れた農畜産物を使った菓子を開発し、観光客や地元客等にオホーツクの魅力を発信することで、オホーツクブランドの推進と地域産業の活性化に資する。	1,800
	76	一般	オホーツク畑作経営体質強化促進事業	畑作農業の経営体質強化及び農家経営の安定向上のため、畑作の基幹作物である小麦や馬鈴しょについて、高収量かつ安定生産が可能で実需から評価が得られる新品種の円滑な導入や既存品種の更なる生産性向上を図る取組を進めるとともに、消費者の地産地消に対する意識の醸成を図る。	567
	77	一般	農業女性ステップアップ事業	オホーツクの基幹産業である農業を支える就業人口の半数を占める女性は、農業の基幹的従事者となっており、農業や地域活動の担い手として重要な役割を果たしている中、柔軟性のある強い経営体を作るためには、女性の経営参画が必要不可欠であるため、農業技術や知識の習得の場を創設し、農業経営者としての資質向上を図る。	300
	78	一般	“Rise Again オホーツク”食と観光集中キャンペーン事業	8月に発生した台風・大雨によりオホーツク地域における農林水産業や観光は大きな被害を受け、今後、オホーツクのイメージやブランド力の低下が懸念される。この被害により生じたマイナスイメージの払拭を図るため、食と観光の復興・回復やオホーツクの統一イメージをアピールする集中キャンペーンを実施する。	1,500
	小計				14事業(一般:14、政策形成:0)
十勝	79	一般	交流人口拡大に向けた食と観光推進事業	広大な十勝平野を有し北海道らしい雄大な景観と農業を基幹産業とした十勝地域の魅力を売込み、人を呼び込むため、十勝の「食」ブランド向上を図る取組や道外観光客誘客のための観光プロモーション等の取組を展開し、更なる交流人口の拡大や産業の振興を図る。	11,987
	80	一般	輝らっ!とかち女性活力(ジョカツ)創造事業	十勝でキャリアアップを目指す女性など働き方の参考となるロールモデルの輩出、活躍されている女性をつなぐネットワーク作りなど、女性の活力により本人も地域も輝く一助となるような取組を展開する。	1,013
	81	一般	十勝地域における航空宇宙関連人材育成事業	十勝管内において、航空宇宙関連産業の集積による力強い地域経済を形成するため、オール十勝での情報発信や企業誘致支援をはじめ、未来の航空宇宙産業を支える人材育成等の取組を、地域と連携し一体的に展開する。	300
	82	一般	元気十勝・誘客キャンペーン事業	台風被害からの復興や地域経済の活性化のため、道内外の旅行エージェントやメディア等を十勝地域へ招聘し、元気な十勝観光を体験してもらうことにより、今後の旅行商品の造成や幅広い情報発信などに繋げ、誘客の促進を図る。	1,400
	小計				4事業(一般:4、政策形成:0)
釧路	83	一般	オールくしろ魅力発信事業	くしろ地域の交流人口を拡大し地域の活性化を図るため、道東自動車道の釧路延伸を契機として設立した「ウェルカム道東道!!オールくしろ魅力発信協議会」による地域連携を促進するとともに、地域の魅力の向上を図り、プロモーション活動の実施を通じてくしろ地域の様々な魅力を発信する。	5,000
	84	一般	輝ける北の大地で羽ばたく根釧酪農チャレンジング事業【釧路・根室】	根釧市町村・農協関係者が、根釧酪農・地域の持続的発展に向け、昨年2月に策定した「根釧酪農ビジョン」の方向性に即し、関係者と連携しながら、「草地形(循環型)酪農の推進」、「担い手の育成確保」及び「高付加価値化の推進と新たな可能性の追求」に資する取組を推進することにより、根釧の基幹産業である酪農生産基盤を強化するだけでなく、人口減少社会に対応し、地域経済社会の維持・拡大を図る。	6,000



平成28年度 振興局独自事業 事業一覧

振興局	番号	区分	事業名	事業概要	予算額 (千円)
	85	一般	くしろ冬季観光活性化事業	台風による大雨被害により、多数の宿泊キャンセルが発生するなど管内観光事業者は大きなダメージを受けていることから、冬季観光シーズンに向け、管内観光関係者とともに、札幌駅において効果的な観光プロモーションを実施するほか、SL冬の湿原号の出発式において、乗客に管内産の牛乳を配布する「おもてなし事業」を実施し、管内観光のイメージアップを図り、誘客促進を図る。	520
	小計			3事業(一般:3、政策形成:0)	11,520
根室	86	一般	根室地域における人口減少問題対策事業	人口減少社会における新たな視点での活力ある地域づくりを進めるため、市町や関係機関・団体等と連携し、少子高齢社会へ対応する子育てサポート体制の構築や医療従事者の確保、根釧酪農ビジョンの推進、良質な農水産物と加工品のブランド力向上等による基幹産業の振興、豊かな自然環境など地域資源を活かした滞在型観光の強化等による交流人口の拡大に取り組む。	8,363
	87	一般	戦後70年”忘れてはいけない物語”～次世代への北方領土返還要求運動継承事業	北方領土問題に対する理解の促進を図り、さらなる返還要求運動の後継者育成を図っていくため、根室管内に残されている北方領土にゆかりのある建築物、遺構、文書図画、石碑、埋もれているエピソード等や北方四島側に残されている日本建築物等について、有形・無形の北方領土関連「遺産」と位置付けて掘り起こし、「忘れてはいけない物語」として後世に伝える。	800
	88	一般	千島桜ねむろプロジェクト推進事業	北方領土問題の解決に向けた環境整備の促進を図るため、根室管内の「食」を活かした取組を通じて、北方領土問題の普及啓発及び隣接地域の振興対策を促進する。	837
	89	政策形成	道東インバウンドガイド養成事業【根室・オホーツク・釧路】	道東エリアのガイドが、増加するインバウンド観光客に対応できるよう、広域的な連携体制を構築するとともに、レベルアップしたガイドが、道東の豊かな自然環境や地元的一次産業と調和した観光地づくりの担い手となることにより、地域ブランドの確立、交流人口の拡大を図る。	2,800
		小計			4事業(一般:3、政策形成:1)
合計			89事業(一般:84、政策形成:5)		185,368

※「ふるさと寄附金」は、「地域政策推進事業」に活用させていただいております。

※区分の「一般」は「地域創生推進事業」、「政策形成」は、「政策形成能力向上事業」の略です。

※複数振興局による共同事業については、事業名の欄に【 】で関連振興局名を記載しています。